

第52回 伊丹市人権・同和教育研究大会

分科会一覧(報告概要)

日 時 2026(令和8)年2月7日(土) 14:00~16:30

ところ 伊丹市立労働福祉会館(スワンホール)

入場無料

伊丹市人権・同和教育研究大会は、各専門部会が一年間活動した成果をもとに研究報告を行います。今年は各分科会内で2本のテーマの報告をいたします。人権について一緒に学んでみませんか？

分科会1 ◇就学前教育／男女共生

会場 3階 多目的ホール(小)

- ・一人一人の思いを受け止め、子ども同士をつなげる保育(北保育所)

〈概 要〉

一人一人の子どもの遊びや生活の様子を読み取ることで見えてきた子どもの姿や思いをどう受け止め、それぞれの思いを発信できる環境とはどういうものかについての取組報告をもとに、保育者・子ども・保護者がつながり、共に子どもの育ちを支えていくことが出来るよう、意見交流をしましょう。

- ・女性支援の新しい時代を考える(男女共生部会)

〈概 要〉

離婚後の親と子どもについての新しい家族制度、「共同親権」と、DV被害女性や子どものために開設したシェルター「ミモザハウス」についての研修報告をもとに、皆で語り合しましょう。

分科会2 ◇小学校教育①／中学校教育①

会場 1階 音楽スタジオ

- ・別室登校の取組 ～スマイルルームの一日～(花里小学校)

〈概 要〉

児童が安心して過ごせる居場所として出来た別室(スマイルルーム)についての報告をもとに、全児童が笑顔で通学できるような取組について皆で考えましょう。

- ・生徒一人ひとりの学びと進路を支えるために～校内教育支援センターの取組とその成果～(天王寺川中学校)

〈概 要〉

どのような環境におかれても学びを保障し、進路を支える仕組みを作ることが全ての生徒の「進路保障」であり、「人権保障」でもある。生徒一人ひとりが自分のペースで成長し、将来の進路を主体的に選択できるような支援について、皆で意見交流しましょう。

分科会3 ◇小学校教育②／人権教育

会場 3階 多目的室2

- ・仲間づくり集会 ～一人ひとりが、仲間と向き合う～(摂陽小学校)

〈概 要〉

仲間づくり集会を通じて、子どもたちは、普段忘れがちな「仲間と過ごす中で大切なこと」を皆で学びます。自身を見つめ、向き合い、修正そして、気持ちを繋いでいく仲間づくり集会について、意見交流しましょう。

- ・『過去を学び未来に紡ぐ』① 立命館大学国際平和ミュージアム+アウシュヴィッツ・ビルケナウ博物館を訪れて
② ツラッティ千本で被差別部落の歴史を学ぶ

〈概 要〉

戦争は最大の人権侵害である。戦後80年が経過した今、立命館大学平和ミュージアムやアウシュヴィッツ・ビルケナウ博物館、ツラッティ千本などでの見学報告をもとに、あらためて過去の歴史を振り返り、過去の記憶を共有し、語り続けることで「未来を変える」ことができると信じ、考え、願い、皆で語り合しましょう。

分科会4 ◇高等学校・特別支援学校教育

会場 1階 創作室

- ・本校におけるLGBTQに関する人権教育の取組とその成果（県立阪神昆陽特別支援学校）

《概要》

LGBTQに関する人権教育を、当事者である教師自らが授業を通じて取組み、得られた成果の報告をもとに、生徒たちが自分らしさの大切さや、自分らしさを諦めることなく、また周りの人たちの自分らしさについても理解する心を持てるよう、皆で意見交流しましょう。

- ・交流及び共同学習から考える人権教育

～ともに時間を過ごすことで気付くこと～（県立こやの里特別支援学校）

《概要》

居住地校交流、学校間交流、地域交流を通じて、児童生徒が多様な人と関わり、互いの違いや個性を認め合う経験を積み重ねてきた取組は「共に学び、共に生きる」社会の実現に向けた重要な一歩である。多様な交流活動を継続し、発展させることで誰もが安心して学び、共に成長できる学校づくりについて意見交流しましょう。

分科会5 ◇PTA活動（小学校・中学校）

会場 3階 多目的ホール（中）

- ・講演会

演題：「不登校の現状と対策 ～親子の不安を安心に変える考え方～

講師： 福島 美由紀 さん（スクールカウンセラー）

《概要》

現在の不登校児童生徒数は増える一方です。我が子が学校へ行かなくなるのでは、という不安はもはや万人の悩みかもしれません。その不安を安心に変える方法について、自律神経を中心にした新しいメンタルヘルスの考え方を切り口にお伝えしようと思います。

分科会6 ◇中学校教育②/

社会教育・農業/企業内教育

会場 1階 第4会議室

- ・人権教育について教員の研修を重ねて ～人権教育をアップデート～（松崎中学校）

《概要》

生徒へ人権教育をしていく中で、職員の間でも理解に差があったことから、人権教育の計画を見直すにあたり、教員が何を学ぶべきかについても検討し、学習した報告をもとに、人権教育のアップデートについて意見交流しましょう。

- ・インターネットと人権～加害者にも被害者にもならないために～（社会教育・農業部会/企業内教育部会）

《概要》

人間は決して誹謗中傷を行い、差別を拡大するためにコミュニケーションの手段を発達させてきたのではない。誰もが安心してインターネットを使い、安全なコミュニケーションがとれる、差別のない共生社会ができるよう皆で語り合しましょう。

主催 伊丹市人権・同和教育研究協議会
後援 伊丹市・伊丹市教育委員会
問合せ先 伊丹市人権・同和教育研究協議会 事務局
伊丹市千僧1丁目1番地 教育委員会事務局人権教育室内
TEL 784-8113 FAX 780-3519
E-mail ed-jinken@city.itami.lg.jp

